



あいさつ

春日部市立川辺小学校長 島村 克己

本校は、平成25・26・27年度春日部市教育委員会「国語教育モデル校」、平成27年度埼玉県国語教育研究会「国語教育研究（地区別授業研究会）」の委嘱を受け、「生きる力としての国語力を育てる国語教室の創造～豊かな言語活動を身に付ける言語活動の充実～」を主題に研究に取り組んでまいりました。そして「国語力は学校力」を合い言葉に、「児童一人一人が国語の学力、すべての学習の基本とされている言葉の力を身に付けるにはどうしたらよいか」を目指し、三つの視点を持って取り組んで参りました。一つ目は、授業の中で単元構成や学習活動を児童の実態や願いを踏まえた構想として工夫したことです。二つ目は、学校環境の中で児童の言語環境を整備し、学校を「豊かな言語生活を体験させる場」とし、日々の生活の中で様々な言語体験ができるようにしたことです。そして三つ目は、図書室を中心にして、読書活動としての「読み聞かせ」や「読書の楽しみを味わう学習」「家庭での親子読書の推進」など、効果的な読書活動を積極的に広げて来たことです。

この結果、音読が好きな児童が増えたり、視写活動、ノート指導の充実、書くことへの抵抗感がなくなり、書く意欲の向上が図られました。さらに意図的な交流活動を進めた結果、自分の考えに自信が持て、より積極的な交流になったり、ちがう考えに気づき、考えが深まるなどの成果が得られました。また、授業実践での並行読書も含め、学校図書館司書や図書ボランティアさんの協力を得ながら、様々な形での読書活動を展開してきました。その結果、家庭での読書活動も一層進み、国語力向上の後押しになりました。しかしながら、まだまだ課題も山積しています。今後も更に研究を進め、その成果を児童一人一人の姿として発信できたらと思います。

結びに、本研究をすすめるにあたりまして、筑波大学人間系教授 甲斐雄一郎 先生をはじめ、多くの先生方にご指導をいただきました。関係の皆様方に、心より感謝申し上げます。あいさつといたします。大変ありがとうございました。

